

ドビュッシーをめぐる新しい潮流〈1916年〉



青柳いづみこ (あおやまいづみこ/ピアノ&トーク)

ピアニスト・文筆家。安川加壽子、ビエール・バルビゼの各氏に師事。フランス国立マルセイユ音楽院首席卒業、東京芸術大学大学院博士課程修了。武満徹・矢代秋雄・八村義夫作品を集めた『残酷なやさしさ』により、平成2年度文化庁芸術祭賞。執筆と演奏を両立させる稀な存在として注目を集め、9枚のCDが『レコード芸術』誌で特選盤となるほか、師安川加壽子の評伝『翼のはえた指』(白水Uブックス)で第9回吉田秀和賞、祖父の評伝『青柳瑞穂の生涯』(平凡社ライブラリー)で第49回日本エッセイストクラブ賞、『6本指のゴルトベルク』(中公文庫)で第25回講談社エッセイ賞、CD『ロマンティック・ドビュッシー』(カメラーク)でミュージックペンクラブ音楽賞を受賞している。近著に『どこまでがドビュッシー?—演奏の向こう側—』(岩波書店)。2016年8月、中公新書より『ショパン・コンクール』(仮題)刊行予定。秋にはコジマ録音より、高橋悠治氏とのコラボレーションで大田黒元雄のピアノによるアルバムをリリース予定。テレビ朝日『題名のない音楽会』、ラ・フォルジュルネ音楽祭にも出演。日本ショパン協会理事。日本ピアノ教育連盟評議員。ピティナ正会員。大阪音楽大学教授、神戸女学院大学講師。

オフィシャルHP <http://online-l.net>
公式Facebook <https://ja-jp.facebook.com/aoyagilizumiko>

高橋悠治 (たかはしゆうじ/ピアノ)

1960年草月アートセンター、1974-76年季刊誌『トランソニック』、1978-85年『水牛楽団』『月刊・水牛通信』。以来は作曲・演奏・即興で少数の協力者と活動を続ける。

<http://www.suigyuu.com/yuji/>

著書：『高橋悠治/コレクション1970年代』(平凡社)
『音の静寂静寂の音』(平凡社)
『さっかけの音楽』『カフカノート』(みすず書房)

■ 会場のご案内：青嶋ホール

静岡市葵区西草深町16-3

☎ 054-253-6480



JR静岡駅北口バスターミナル8番乗り場より県立総合病院行きに乗り、英和女学院前下車徒歩2分。ホールには駐車場がありません。ホール近くのコインパーキングを御利用下さい。

青柳いづみこの本

モノ書きピアニストの顔目録。演奏の現場から生まれた音楽エッセイ

ドビュッシーとの散歩



ドビュッシーの演奏・解説の第一人者が、編み出すピアノ作品40余曲に寄ったエッセイ集。文庫性、社会趣味から楽評対象まで、軽やかな文体で綴る

●2016年 ●620円

ピアニストたちの祝祭

— 第一第二の時間を求めて —

国府アルゼリット音楽団、サ・フォル・ジュネ、サイトウ・キネン・フェスティバル……。華やかなステージの向と外から、ピアニストがとらえた、自身の音楽観見録

●2016年 ●1850円

今秋刊行予定

ショパン・コンクール(仮)

2016年10月 発売予定

NEW CD

青柳いづみこ (ピアノ) 高橋悠治 (ピアノ)

ALCD-7200 定価：¥2,800+税(送料)

今から約100年前、大田黒元雄のサロンで、最先端の音楽を紹介する『ピアノの夕べ』という日本クラシック界に残る演奏会が開かれていた。そこで紹介された曲を、当時のスタインウェイで再現。

<収録予定曲目>

- グリーグ：春に寄す
- ドビュッシー：小さな序曲
- ゴッタルド：即興
- マクダウェル：“春のステップ”より
- シリル・スコット：魂の共感の夜 / 夜 / エジプトの舟歌
- スクリャーピン：作曲家 作品 33-1, 2, 3 / 2つの小品 (以上 全曲15分)
- プロコフィエフ：夜の間のお話
- 山田耕筰：若い心とピアノ (以上 全曲10分)
- ラヴェル：マ・メール・ロア (全曲15分)

ALM RECORDS / コジマ録音
<http://www.kojimarekoon.com>

ALM RECORDSの音楽制作はすべて、PVCフリーの環境に配慮した素材を使用し、環境にやさしい製品を提供いたします。